

“たま取り名人” 特徴補足資料

株式会社ヤノテック

今回は、弊社の製品をご検討いただきありがとうございます。
弊社製“たま取り名人”の補足資料として、特徴等をご案内します。

特徴1：取付場所について



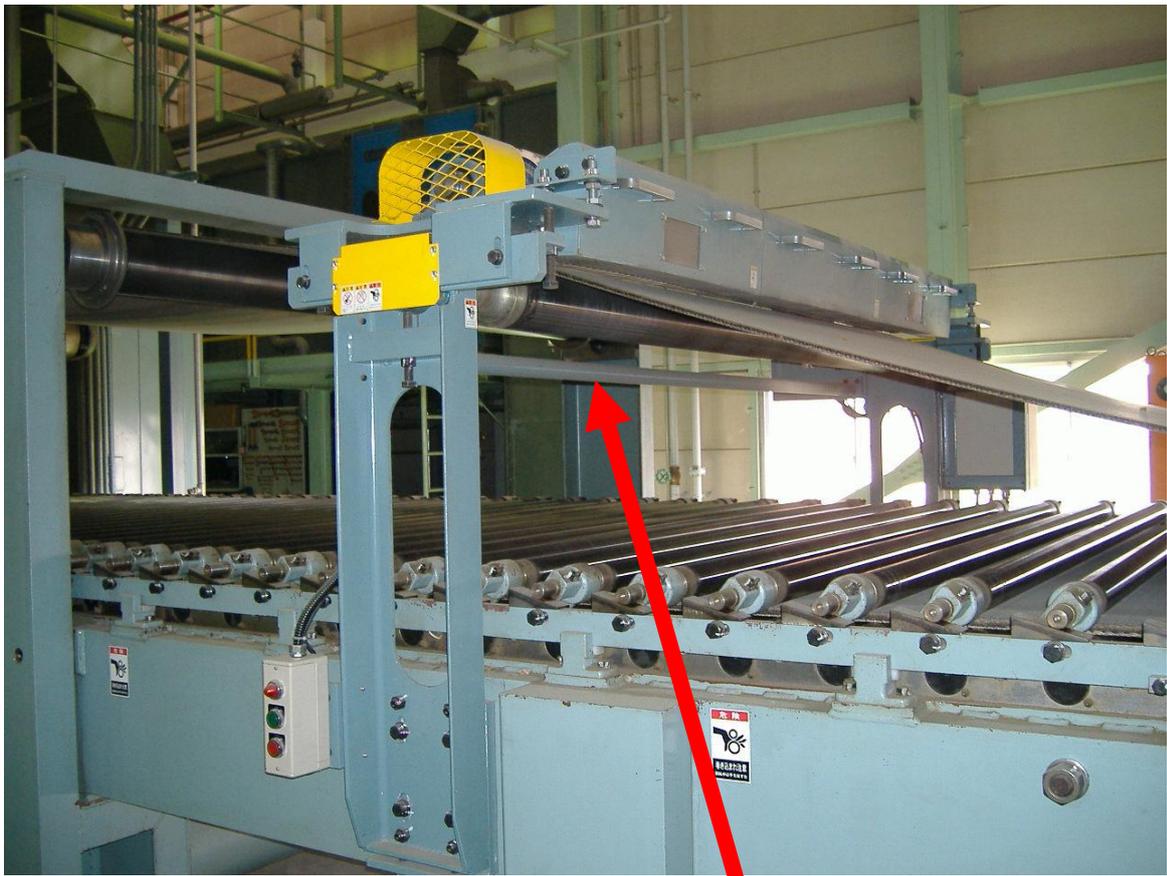
(写真1)

キャンパスベルトに付着した糊カスを安定して除去する為には、ベルト高さが均一でバタつきなく安定して走行する場所への取付が必要です。

WFのドラムロールは表面にすべり防止の為にゴムを貼りつけており、ゴムが摩耗するとベルト高さが不均一になります。

その為出口側ドラムロールよりも前側に装置を設置しています。(写真1)

また、ベルトのバタつき防止として、ベルト下部にガイドロールを設置することでベルト位置と除去ロールの隙間を安定させるようにしています。(写真2)



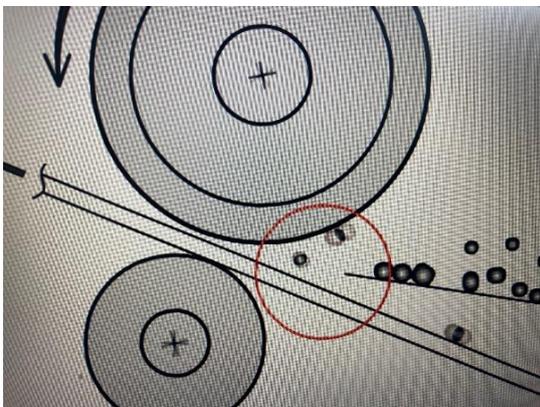
(写真2)

特徴2：除去ロールについて

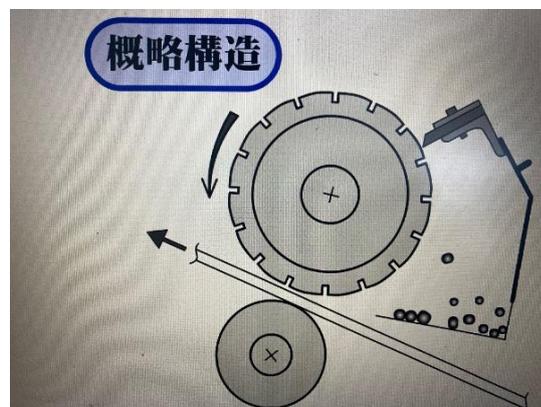
ベルトに付着した糊カスを除去する為にはベルトに直接スクレーパーを圧着する方法は有効ですが、ベルト表面の目を潰してしまう為蒸気の抜けが悪くなります。

その為、ベルトとの隙間を1mmとした（レーシング部の高さ確保の為）ゴムロールをベルト進行方向と逆方向に回転させることで除去ロールとしています。

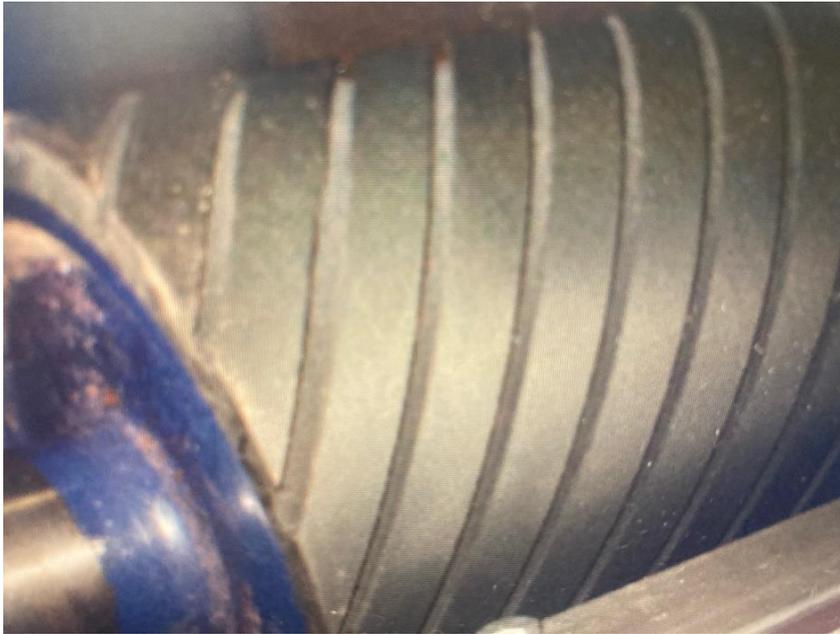
また除去した糊カスをキャッチするバケットを設置していますが、小さな糊カスはバケットに届かず何度もゴムロールへ戻ってしまう為、対策としてゴムロールにスパイラル状の溝を設け、バケットに入らない糊カスを両側へ飛ばす工夫をしています。（特許出願中）（写真3・4・5）



(写真3)



(写真4)



(写真5：スパイラルが両側へ糊カスを飛ばす)

特徴3：その他の特徴と注意点

- 糊カスを受けるバケットに点検窓を取付けることで糊カスの除去状況が一目で確認できます。
- ゴムロールがベルトに直接接触しない為、ゴムロールの摩耗がほぼありません。
- 全国の段ボール工場様へ納入実績があります。(101台出荷/2022年3月現在)
- 糊カスによるトラブルは飛躍的に減少した実績はありますが、100%除去できるわけではありません。更に除去をご希望のお客様へ「たま取り達人」をラインナップしています。(13台出荷/2022年3月現在)